

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 55
2013 春

JCMU—Michigan Center ;
Creating a World Classroom



JCMU—ミシガンセンター：
ワールドクラスルームを創る

Marilyn Schlieff

JCMU English language program coordinator

Living in Shiga as Michigan exchange teachers in 1988 was a life-changing experience for my husband and me!

A memorable event was inviting four Shiga educators — Kokusai Joho principal, two English teachers, one Board of Education member — to join me in a Tokyo conference center for a teleconference between Shiga and Michigan. We spoke LIVE with my teaching colleagues at Garden City High School in Michigan, resulting in email exchanges between Michigan and Moriyama students in 1988!

In recognition of those video teleconferencing activities, I received a National Christa McAuliffe teacher's award for a global understanding project called "Creating a World Classroom". I promised myself to return to Shiga someday and create a center for teaching and learning English, enhanced by the latest educational technologies with a focus on global understanding.

Returning to Shiga last year to work with JCMU English programs in Hikone is an honor. The Center is complemented by professional SIA and JCMU staff. With support of fifteen public Michigan universities, JCMU is a vibrant Center for educational exchange of language, culture, arts, and communication. There must be no limit to the creativity, enthusiasm and enjoyment of participants who attend JCMU activities. Imagine ... the JCMU library, lobby, and computer room as comfortable gathering spots to enjoy English classes, conversation partners, musical performances, poetry readings, movies, book clubs, forums for world events, presentations by sister-city groups; photography, computer applications, art exhibits, Skype interaction with speakers around the world; "meet-ups" about favorite hobbies; story-hours to encourage reading and language learning for children or retirees...to expand our world knowledge.

The Michigan Center—JCMU belongs to Shiga. Together, let's create a world classroom of activities. Come to JCMU for a "fun" English experience!

マリリン・シュライフ

JCMU英語プログラム主任教官

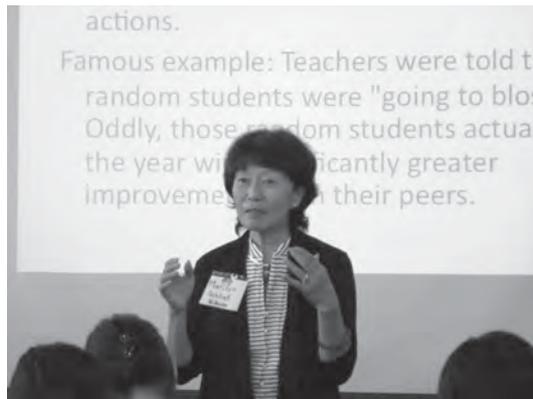
1988年、ミシガンからの交換教員として滋賀に住んだこと、それは私と夫にとって人生が変わる経験でした。

中でも最もエキサイティングだった出来事の一つは、滋賀の教育者4名—国際情報高校校長、英語教員2名、教育委員会委員1名—を、滋賀・ミシガン間の遠隔会議のために東京のコンファレンスセンターにお招きしたことでした。私たちは、ミシガンのガーデンシティハイスクールの私の同僚たちとライブで話し、その結果、1988年にミシガンと守山の学生たちの間でeメールの交流が行われるようになったのです。

これらの遠隔テレビ会議活動が認識されて、私は「ワールドクラスルームを創る (Creating a World Classroom)」というグローバル理解のプロジェクトで「全米クリスタ・マコーリフ教員賞 (National Christa McAuliffe teacher's award)」を受賞しました。私はいつの日か滋賀に戻り、グローバル理解に焦点を当て、最新の教育技術で拡大した英語教授と学習センターを創ろうと自らに誓いました。

昨年滋賀に戻り、彦根のJCMUの英語プログラムで仕事ができるようになったことは光栄なことです。このセンターには滋賀県国際協会およびJCMUの専門スタッフが配属されています。JCMUはミシガンの15の公立大学によって支援される、言語、文化、芸術、コミュニケーションの活発な教育交流センターです。JCMUの活動への参加者の創造や情熱、そして楽しみに限りがあってはなりません。想像してみてください…。快適な集会場所としてのJCMUの図書室やロビー、コンピュータールームを。そこで楽しめるのは、英語クラス、会話パートナー、音楽活動、詩の朗読、映画、書籍クラブ、世界のイベントフォーラム、姉妹都市団体のプレゼンテーション。そして写真やコンピュータアプリケーション、芸術展示に世界中のスピーカーとのスカイプ交流。それに好きな趣味についての集いや、子どもたちや退職者のための読書や言語学習を奨励するストーリーアワー…。私たちの世界への知識を深めていくための場所です。

ミシガンセンター「JCMU」は滋賀のものです。一緒に活動する世界的クラスルームを創りましょう。「楽しい」英語を体験しにJCMUに来て下さいね。



2012びわこ環境ビジネスメッセ体験記

2012年10月24日から3日間にわたり長浜ドームで開催された2012びわこ環境ビジネスメッセのミシガン州経済開発公団のブースにボランティア参加したクリステン・ロトリーさんから、体験記が寄せられました。

Kristen Lotrey
Michigan State University

クリステン・ロトリー
ミシガン州立大学

Going to the environmental business expo was definitely a wonderful experience to see Japanese companies and latest ideas for new products.

At first I was not sure what to expect when signing up for this event, but I was delightfully surprised. When I arrived to Nagahama Dome with two other JCMU students and one of JCMU's teachers, Elyzabeth Lynn and Alithea Mcfarlane, and Mr. McCracken, the place was huge and filled with booths from various companies all across Japan, from toilet companies, to those that plan to send out solar panels to help energize a city. Some companies were bigger like Panasonic, and some were smaller companies that mold vases out of clay. These were ideas about the near hopeful future, if put into action, will help save energy, and innovating products that are more earth friendly.

These companies were not just Japanese companies. In our booth, we informed people about Michigan, such as our five large lakes and the energy saving opportunities Michigan has to offer, such as the fruits grown in Michigan and the ever famous car companies in Detroit. We also explained about the good relationship between Michigan and Shiga prefecture in Japan. For example, JCMU's English and Japanese intensive program. Japanese people who wish to learn more English are welcome to join JCMU's intensive English program to enhance their skills. If they took an interest in JCMU, they received our own personal business card, which we were given to us to pass out to people. Many people stopped by our booths, and all three of us, JCMU students, had the opportunity to practice our Japanese explaining the opportunities above.

I was also able to try out the new products, such a bathing soap that made your hand smooth and vacuums of the future that were able to vacuum themselves. Being able to test these new products were a lot of fun and educational. I am excited to see what kinds of products Japanese companies will innovate for the near future that are earth friendly.

Going to the Nagahama Dome was definitely an experience I will always remember. Returning home to America, I cannot wait to tell people about Japan's new ideas for the future and their beautiful "saving the planet" mindset.

環境ビジネスメッセは、日本の企業について、また新製品についての最新のアイデアを知る大変すばらしい機会となりました。

最初、このイベントへの参加申し込みをした時、何が期待できるかよく分かりませんでした。それは楽しく驚きに満ちたものでした。JCMUの学生であるエリザベス・リン、アリセア・マックファーレンと、マクラケン先生といっしょに長浜ドームに着いた時、会場は非常に広く、日本中の会社のブースが立ち並んでいました。それは、トイレ関連企業から、市のエネルギー供給を助けるための太陽光パネルの製造を計画している企業など様々でした。いくつかはパナソニックのような大企業で、いくつかは粘土から花瓶を作る小さな会社までいろいろです。もし実現すれば、省エネに役立ち、地球に優しい革新的な製品として近い将来に有望なアイデアもありました。

出展者は日本企業だけではありません。私たちのブースでは、ミシガンに関する紹介をしました。その内容は、五大湖のこと、省エネの取り組みのこと、フルーツ栽培のこと、とても有名なデトロイトの自動車会社に関することなどです。さらに私たちは、ミシガンと滋賀との友好関係について、それは例えばJCMUの英語プログラムや日本語集中プログラムなどについても紹介しました。私は、英語をもっと学びたいと願っている人たちが、JCMUの英語の集中講座を受講され、英語の能力向上を図っていただきたいと思っています。JCMUに関心を持っていただいた方々には、私たち個人毎に作っていただいた名刺を渡しました。多くの人たちが私たちのブースに寄っていただきましたので、私たち3人のJCMU学生は上記の説明をすることで、日本語の練習をすることができました。

私は、展示会で新製品を試す機会にも恵まれました。それは、例えば手をさらさらにする石けんや自分で動く掃除機などです。このような新製品を試すことはとても楽しく、ためになることでした。私は、近い将来に革新をもたらす地球に優しい日本企業の製品を見て感激しました。

長浜ドームに行ったことは一生忘れない経験です。アメリカに戻った後、私は将来に対する日本人の新しいアイデアや彼らの“地球を守る”ための素晴らしい発想について話すことを待ち遠しく思います。



ミシガンの地図を説明するロトリーさん

JCMU公開講座

滋賀県国際協会では、ミシガン州立大学連合日本センターと連携し、地域社会の国際化と国際理解に少しでも貢献できるよう毎年様々なテーマでの公開講座を開催しています。

今回は、平成24年度に開催した9回の公開講座をご紹介します。

第85回・86回 公開講座

「効果が実感できる実践英語学習法」

9月1日(土) 会場：JCMU

9月8日(土) 会場：栗東ウイングプラザ



JCMUの英語プログラム主任教官であるマリリン・シュライフ教官が、日常生活の限られた時間の中で、効果が実感できる実践的な英語学習法について講演しました。参加者同士が英語で話す機会を作るなど参加型の公開講座で、大変有意義であったという多くのご意見をいただきました。

第87回 公開講座

「アメリカの選挙制度について」

10月6日(土) 会場：JCMU



11月に4年ぶりのアメリカ大統領選が実施されるのを前に、アメリカの政治や社会を熟知するJCMUマクラケン所長が、アメリカの選挙制度について講演しました。分かりにくかったアメリカの大統領制度についてよく理解できた、タイムリーなトピックでよかったなどのご意見をいただきました。

第88回・89回 公開講座

「世界を旅しよう」

12月2日(日) 会場：JCMU

12月8日(土) 会場：滋賀県教育会館(大津市)



元アメリカ・ミシガン州派遣英語教員のドナルド・シュライフ氏に世界を旅することの楽しさ、英語を学ぶことの重要性などについて、世界の美しい写真を紹介しながら語っていただきました。「いつか私も世界のあちこちを旅したいと思った。」というようなご意見をいただきました。

ミシガン州立大学連合日本センター

〒522-0002 滋賀県彦根市松原町網代口1435-86
TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356
URL <http://www.jcmu.net>

■編集・発行 (公財) 滋賀県国際協会 彦根事務所

第90回 公開講座

「JCMUで学んだこと」

12月8日(土) 会場：JCMU



JCMUで日本語を学ぶアメリカからの留学生3名が日本語で、英語を学ぶ日本人3名が英語で、JCMUで学んだこと、今後の夢などについて、パワーポイントや写真を紹介しながらスピーチしました。一生懸命に語学の勉強に取り組んでいる姿に参加者から大きな拍手が寄せられました。

第91回 公開講座

「英語学習者の語彙レベルと英文の読みやすさの判定について」

2月23日(土) 会場：JCMU



ミシガン州立大学イングリッシュランゲージセンターローレンス・ツヴァイヤー副所長に講演いただきました。英語学習者の語彙レベルと英文の読みやすさを判定する手法について講演いただきました。今回は、多くの英語教員の方々に参加いただき、今後の授業での参考になるなどのご意見をいただきました。

第92回 公開講座

「英単語の背景・英語発音の戸惑いについて」

3月9日(土) 会場：JCMU



ミシガン州立大学イングリッシュランゲージセンターのスターラ・ディートリッヒ講師に講演いただきました。英単語や英語表現の背景にあるアメリカの文化や歴史を紹介するとともに、戸惑うことが多い英単語のつづりと発音との関係などについて、グループでの発音練習も取り入れながら、分かりやすく説明いただきました。

第93回 公開講座

「アメリカの少女達から見た日本の生活」

3月23日(土) 会場：JCMU



1月にご家族とともに来日されたノーザン・イリノイ大学歴史学部のエバーレット・テイラー・アトキンス教授に講演いただきました。今回は、アトキンス教授の14歳と10歳の2人のお嬢さんの目から見た日本の生活について、アメリカの文化との違いを交えながら講演いただきました。また、ご家族は音楽一家であるため、講演後ジャズやフォークなどのミニ演奏会を行っていただきました。